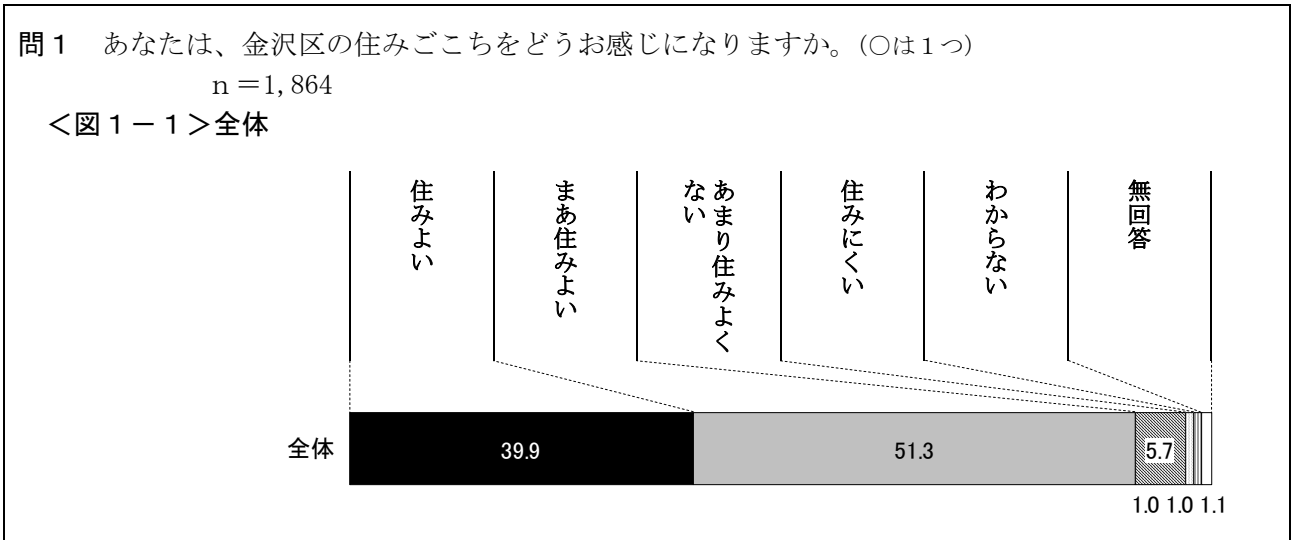


Ⅲ. 調査結果の分析

1 日常生活

(1) 住みごころ

◇【住みよい(計)】は9割、【住みにくい(計)】は7%



金沢区の住みごころは、「住みよい」(39.9%)が4割で、「まあ住みよい」(51.3%)が半数を超え、この2つを合わせた【住みよい(計)】(91.3%)は9割を超えている。一方、「住みにくい」(1.0%)と「あまり住みよくない」(5.7%)を合わせた【住みにくい(計)】(6.7%)は1割に満たない。(図1-1)

□属性別比較

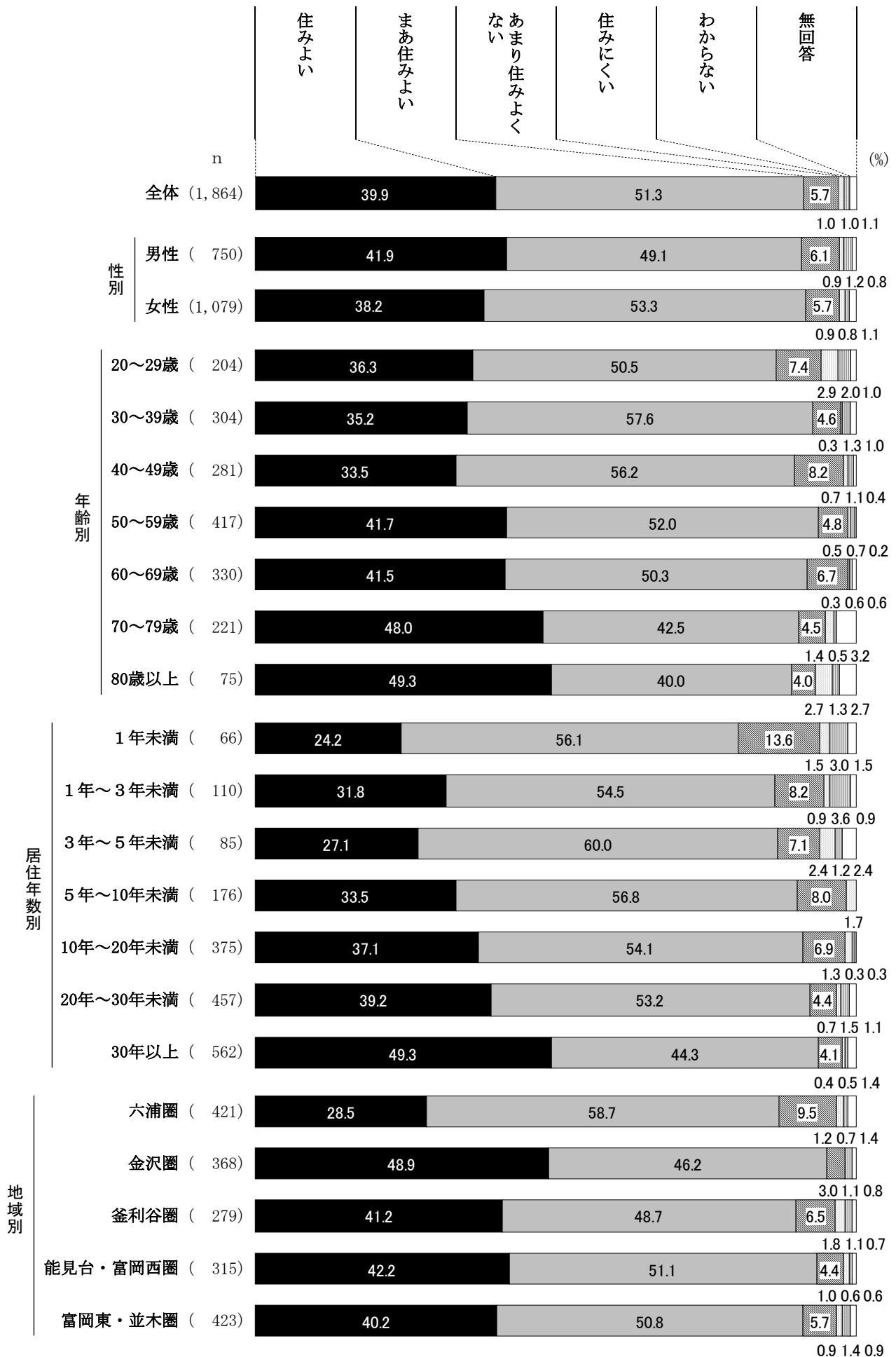
性別でみると、「住みよい」は男性の方が女性よりも4ポイント上回っているが、【住みにくい(計)】では差はない。

年齢別では、「住みよい」は70歳代以上で半数に近い。【住みにくい(計)】は20歳代で1割台に乗っている。

居住年数別では、「住みよい」は年数が長くなるほど増加傾向を示しており、1年未満では4人に1人だが、30年以上ではほぼ半数となっている。【住みにくい(計)】は1年未満で1割台半ばと比較的高い。

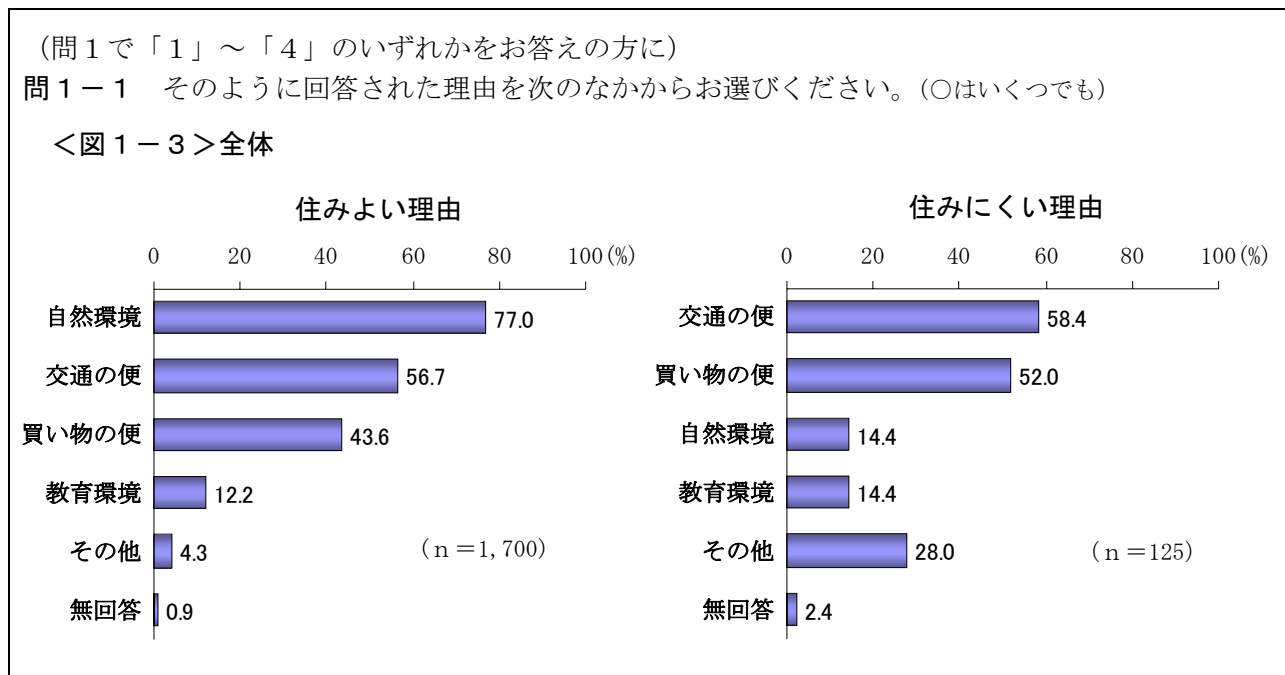
地域別では、「住みよい」は金沢圏で半数に近く、【住みにくい(計)】は六浦圏で1割を超える。(図1-2)

<図1-2>性別／年齢別／居住年数別／地域別



(1-1) 住みよい理由・住みにくい理由

◇住みよい理由は、「自然環境」が8割弱で、「交通の便」が過半数、「買い物の便」が4割強
 住みにくい理由は、「交通の便」が6割に近く、「買い物の便」が過半数



【住みよい (計)】と答えた方の理由は、「自然環境」(77.0%)が8割弱で最も高く、2番目が「交通の便」(56.7%)で半数を超え、3番目が「買い物の便」(43.6%)で4割台半ばに近い。

一方、【住みにくい (計)】と答えた方の理由は、「交通の便」(58.4%)が6割に近く、「買い物の便」(52.0%)が半数を超えている。(図1-3)

□属性別比較

住みよい理由

性別でみると、「買い物の便」で女性の方が男性より7ポイント高いほかは大きな差異はない。

年齢別では、「交通の便」は20歳代で6割台に乗り、この年代は「買い物の便」で半数を超えて比較的高い。

居住年数別では、「交通の便」は30年以上で6割台半ばで、この年代は「教育環境」で1割台半ばに近く比較的高い。また、「買い物の便」は1年未満で過半数である。

地域別では、「自然環境」は釜利谷圏で8割台半ばに高く、「買い物の便」は金沢圏で5割台半ば、富岡東・並木圏で5割強である。(図1-4)

住みにくい理由

性別でみると、「交通の便」は女性の方が男性より14ポイント高く、「自然環境」も女性が6ポイント上回っている。

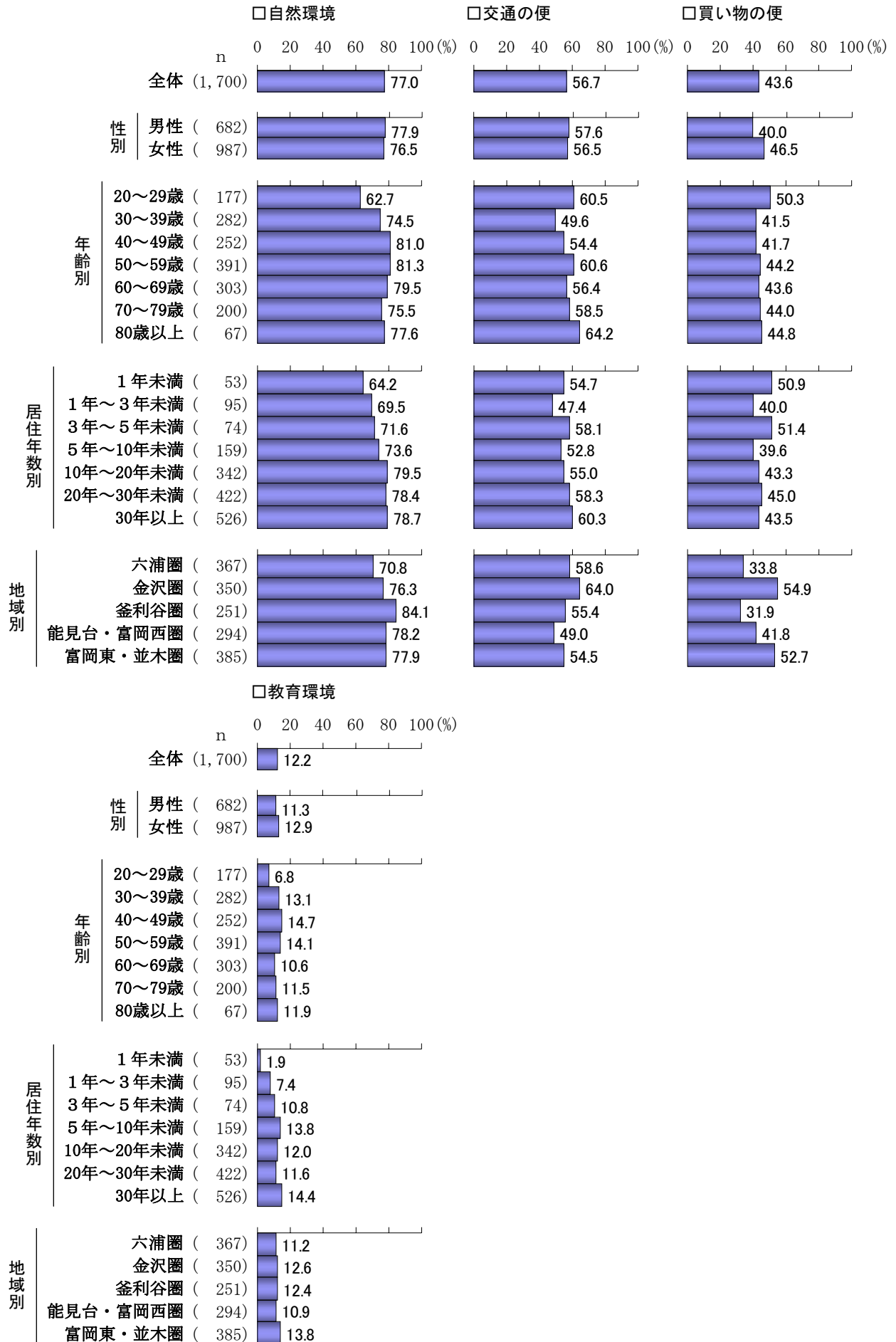
年齢別では、「交通の便」は30歳代で8割台に乗り、「買い物の便」は40歳代で7割を超える。また、「教育環境」は40歳代で4割に近い。

居住年数別では、「交通の便」は10年～20年未満と1年未満で7割を超え、「買い物の便」も1年未満で7割台に乗り。

地域別では、「交通の便」は富岡東・並木圏で7割を超え、この圏は「買い物の便」で6割台半ばと高い。また、「自然環境」と「教育環境」は金沢圏で3割弱となっている。(図1-5)

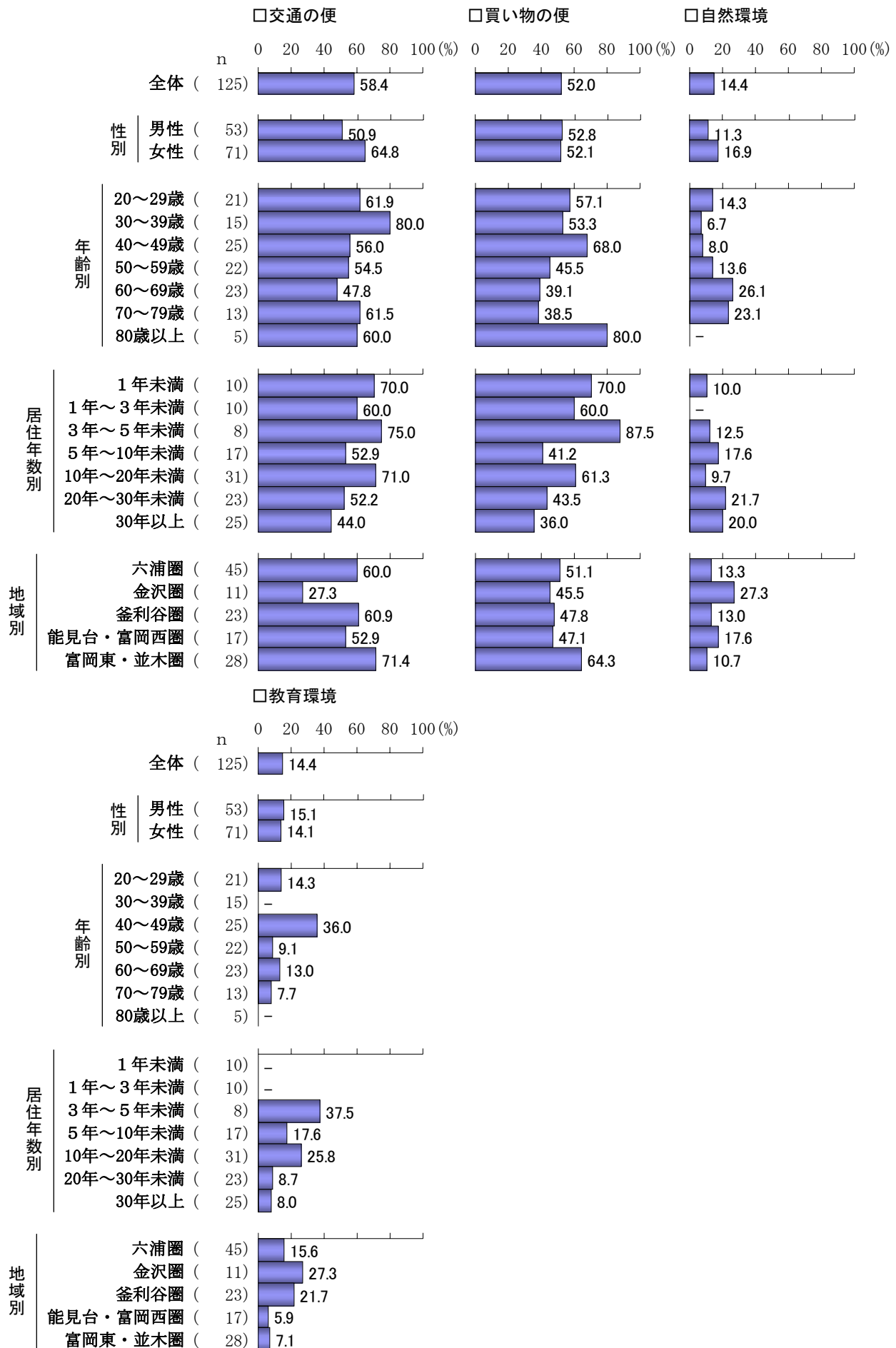
住みよい理由

<図 1 - 4> 性別／年齢別／居住年数別／地域別 (上位 4 項目)



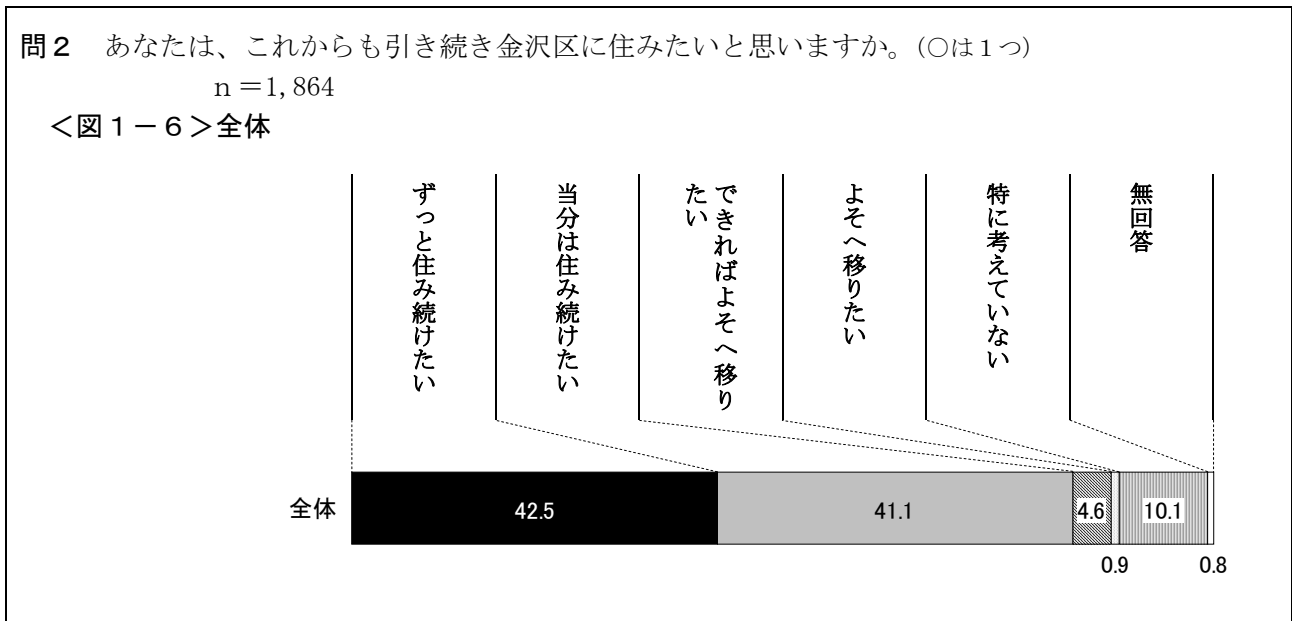
住みにくい理由

<図 1-5> 性別／年齢別／居住年数別／地域別（上位4項目）



(2) 定住意向

◇【定住意向】は8割台半ばで、【転出意向】は6%弱



金沢区での定住意向については、「ずっと住み続けたい」(42.5%)と「当分は住み続けたい」(41.1%)がともに4割を超え、この両者を合わせた【定住意向】(83.6%)は8割台半ばとなっている。一方、「よそへ移りたい」(0.9%)と「できればよそへ移りたい」(4.6%)を合わせた【転出意向】(5.5%)は1割に満たない。(図1-6)

□属性別比較

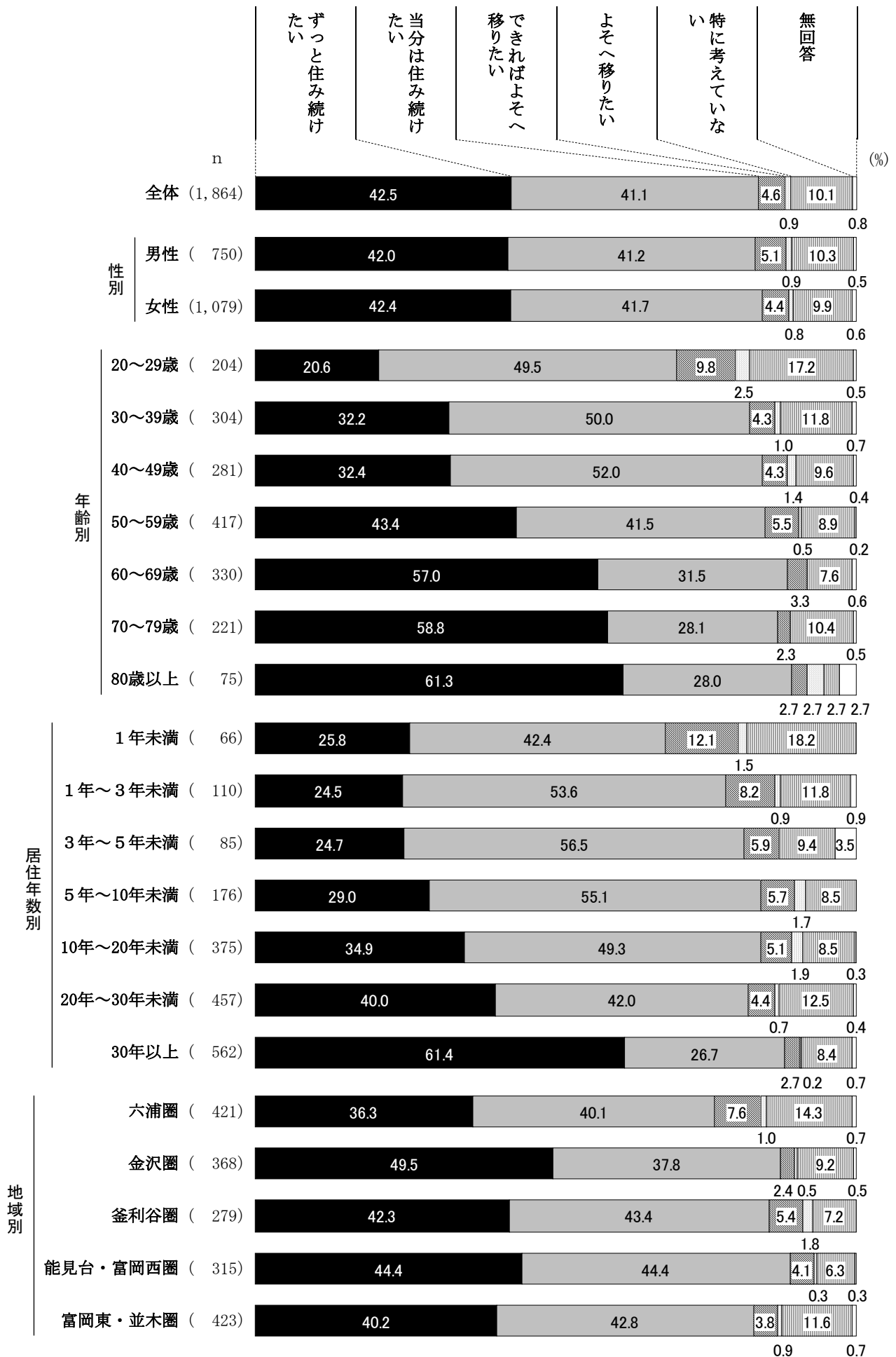
性別でみると、両者間での顕著な差異はない。

年齢別では、「ずっと住み続けたい」は加齢とともに増加傾向を示しており、20歳代では2割だが80歳以上では6割を超える。【転出意向】は20歳代で1割を超えて比較的高い。

居住年数別では、「ずっと住み続けたい」は年数が長くなるほど増加傾向を示しており、5年未満までは4人に1人だが、80年以上では6割を超える。【転出意向】は1年未満で1割台半ばに近い。

地域別では、「ずっと住み続けたい」は金沢圏で半数に近く、【転出意向】は六浦圏で1割に近い。(図1-7)

<図1-7>性別/年齢別/居住年数別/地域別



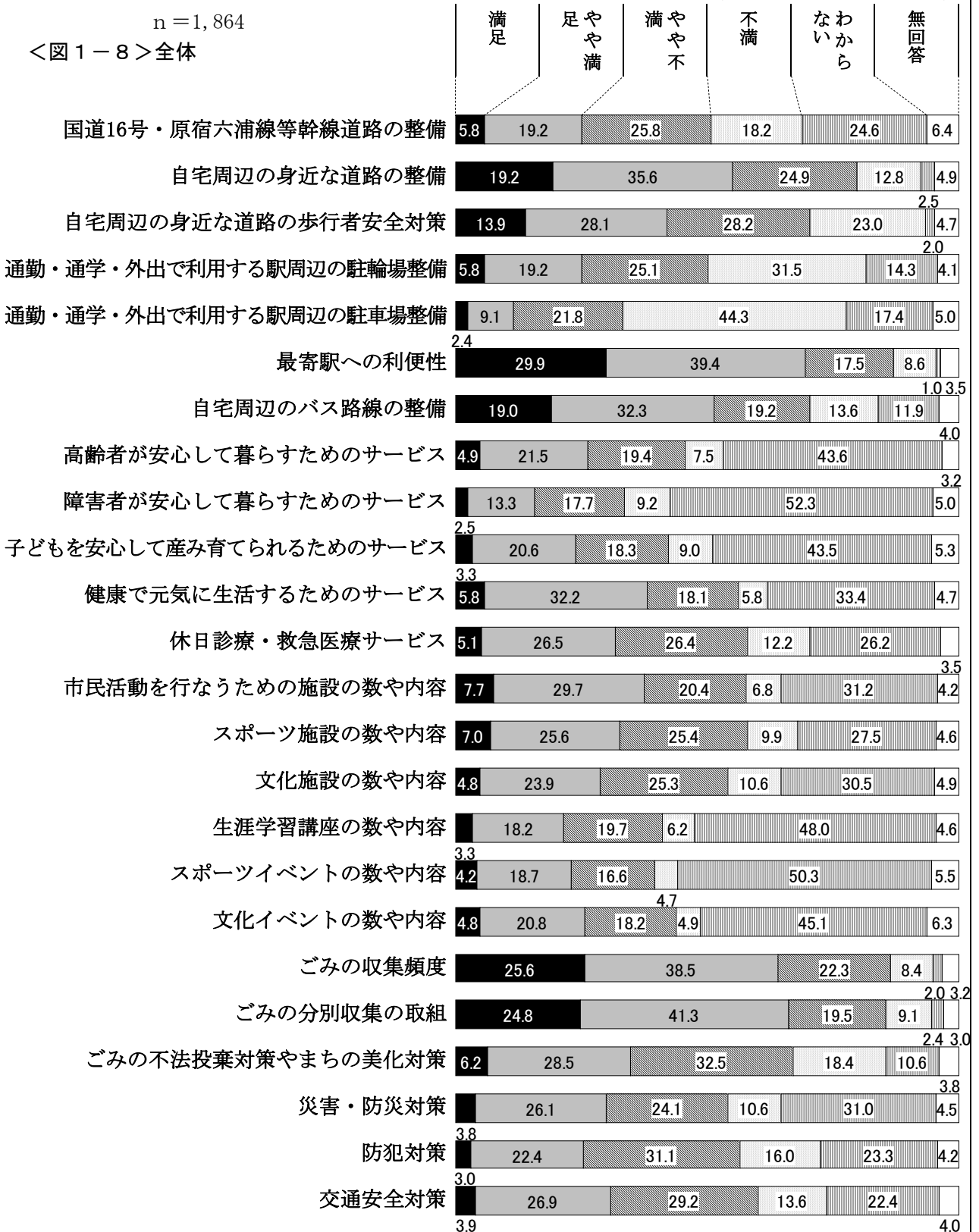
(3) 生活環境の施策満足度

- ◇【満足（計）】は、〈最寄駅への利便性〉が7割で、〈ごみの分別収集の取組〉が3人に2人
 【不満（計）】は、〈駅周辺の駐車場整備〉が3人に2人、〈駅周辺の駐輪場整備〉が5割台半ば

問3 あなたが日常生活を送っているなかで、次にあげる項目について、どの程度満足し、また不満を感じていますか。次の1～24の項目ごとに、当てはまる数字に○を記入してください。

(○はそれぞれについて1つ)

n = 1,864
 <図1-8>全体



「満足」は<最寄駅への利便性> (29.9%) が3割で、<ごみの収集頻度> (25.6%) と<ごみの分別収集の取組> (24.8%) の2つがともに4人に1人となっている。<自宅周辺の身近な道路の整備> (19.2%) と<自宅周辺のバス路線の整備> (19.0%) の2つが2割に近い。また、これに「やや満足」を合わせた【満足(計)】では<最寄駅への利便性> (69.3%) がほぼ7割で、<ごみの分別収集の取組> (66.1%) と<ごみの収集頻度> (64.1%) の2つが6割台半ば、<自宅周辺の身近な道路の整備> (54.8%) が5割台半ばである。

「不満」は<通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐車場整備> (44.3%) が4割台半ばで最も高く、<通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐輪場整備> (31.5%) が3割強、<自宅周辺の身近な道路の歩行者安全対策> (23.0%) が3割強となっている。また、これに「やや不満」を合わせた【不満(計)】では、<通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐車場整備> (66.1%) が3人に2人で、<通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐輪場整備> (56.6%) が5割台半ば、<自宅周辺の身近な道路の歩行者安全対策> (51.2%) と<ごみの不法投棄対策やまちの美化対策> (50.9%) の2つが過半数となっている。
(図1-8)

加重平均値

満足度を比率でみるのとは別に、その比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を試みた。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\text{満足度評価点} = [(\text{「満足」の回答者数} \times 2) + (\text{「やや満足」の回答者数} \times 1) + (\text{「やや不満」の回答者数} \times \blacktriangle 1) + (\text{「不満」の回答者数} \times \blacktriangle 2)] \div \text{回答者数}$$

この計算方法では、評価点は+2.0点～▲2.0点の間に分布し、中間点の0.0点を境に、+2.0点に近くなるほど満足度は高くなり、逆に、▲2.0点に近くなるほど満足度が低くなる。

この加重平均による満足度が最も高いのは「最寄駅への利便性」の0.68点で、次いで「ごみの分別収集の取組」の0.56点、「ごみの収集頻度」の0.54点と続き、このあとの「自宅周辺のバス路線の整備」の0.28点、「自宅周辺の身近な道路の整備」の0.25点、「健康で元気に生活するためのサービス」の0.23点が続いている。

一方、マイナス点で高いのは、「通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐車場整備」の▲1.24点か突出しており、次が「通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐輪場整備」の▲0.70点で、以下「防犯対策」の▲0.48点、「国道16号・原宿六浦線等幹線道路の整備」の▲0.46点、「障害者が安心して暮らすためのサービス」の▲0.42点などとなっている。

地域別にみて、高いものと低いものの上位3は次のようになっている。

六浦圏／高いもの：最寄駅への利便性 (0.52点)、ごみの分別収集の取組 (0.38点)、ごみの収集頻度 (0.34点)。低いもの：通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐車場整備 (▲1.28点)、自宅周辺の身近な道路の歩行者安全対策 (▲0.62点)、障害者が安心して暮らすためのサービス (▲0.61点)

金沢圏／高いもの：最寄駅への利便性 (0.93点)、ごみの分別収集の取組 (0.62点)、自宅周辺のバス路線の整備 (0.59点)。低いもの：通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐車場整備 (▲1.21点)、通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐輪場整備 (▲1.00点)、障害者が安心して暮らすためのサービス (▲0.49点)

釜利谷圏／高いもの：ごみの分別収集の取組 (0.61点)、最寄駅への利便性 (0.56点)、自宅周辺のバス路線の整備 (0.53点)。低いもの：通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐車場整備 (▲1.14点)、障害者が安心して暮らすためのサービス (▲0.73点)、国道16号・原宿六浦線等幹線道路の整備 (▲0.57点)

能見台・富岡西圏／高いもの：最寄駅への利便性 (0.68点)、ごみの収集頻度 (0.66点)、ごみの分別収集の取組 (0.65点)。低いもの：通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐車場整備 (▲1.36点)、

通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐輪場整備（▲0.79点）、防犯対策（▲0.49点）

富岡東・並木圏／高いもの：最寄駅への利便性（0.67点）、自宅周辺の身近な道路の整備（0.66点）、ごみの収集頻度（0.59点）。低いもの：通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐車場整備（▲1.20点）、通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐輪場整備（▲0.77点）、国道16号・原宿六浦線等幹線道路の整備（▲0.47点）（表1-1）

<表1-1>地域別加重平均

	全体	六浦圏	金沢圏	釜利谷圏	富岡西圏 能見台・	並木圏 富岡東・
国道16号・原宿六浦線等幹線道路の整備	-0.46	-0.46	-0.39	-0.57	-0.35	-0.47
自宅周辺の身近な道路の整備	0.25	-0.17	0.15	0.25	0.42	0.66
自宅周辺の身近な道路の歩行者安全対策	-0.20	-0.62	-0.40	-0.09	-0.02	0.21
通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐輪場整備	-0.70	-0.44	-1.00	-0.44	-0.79	-0.77
通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐車場整備	-1.24	-1.28	-1.21	-1.14	-1.36	-1.20
最寄駅への利便性	0.68	0.52	0.93	0.56	0.68	0.67
自宅周辺のバス路線の整備	0.28	-0.06	0.59	0.53	0.24	0.24
高齢者が安心して暮らすためのサービス	-0.06	-0.23	-0.09	-0.21	0.28	0.04
障害者が安心して暮らすためのサービス	-0.42	-0.61	-0.49	-0.73	0.06	-0.29
子どもを安心して産み育てられるためのサービス	-0.18	-0.37	-0.25	-0.27	0.12	-0.10
健康で元気に生活するためのサービス	0.23	0.00	0.30	0.08	0.47	0.30
休日診療・救急医療サービス	-0.20	-0.27	-0.17	-0.06	-0.12	-0.32
市民活動を行なうための施設の数や内容	0.17	0.01	0.13	0.00	0.25	0.44
スポーツ施設の数や内容	-0.08	-0.35	-0.14	-0.28	0.11	0.25
文化施設の数や内容	-0.20	-0.29	-0.12	-0.36	-0.18	-0.07
生涯学習講座の数や内容	-0.15	-0.16	-0.20	-0.22	-0.05	-0.09
スポーツイベントの数や内容	0.03	-0.09	0.05	-0.08	0.02	0.28
文化イベントの数や内容	0.05	0.00	0.12	-0.05	0.09	0.13
ごみの収集頻度	0.54	0.34	0.58	0.50	0.66	0.59
ごみの分別収集の取組	0.56	0.38	0.62	0.61	0.65	0.57
ごみの不法投棄対策やまちの美化対策	-0.33	-0.55	-0.42	-0.24	-0.13	-0.21
災害・防災対策	-0.18	-0.30	-0.16	-0.12	-0.01	-0.27
防犯対策	-0.48	-0.59	-0.40	-0.42	-0.49	-0.48
交通安全対策	-0.30	-0.47	-0.28	-0.22	-0.20	-0.29

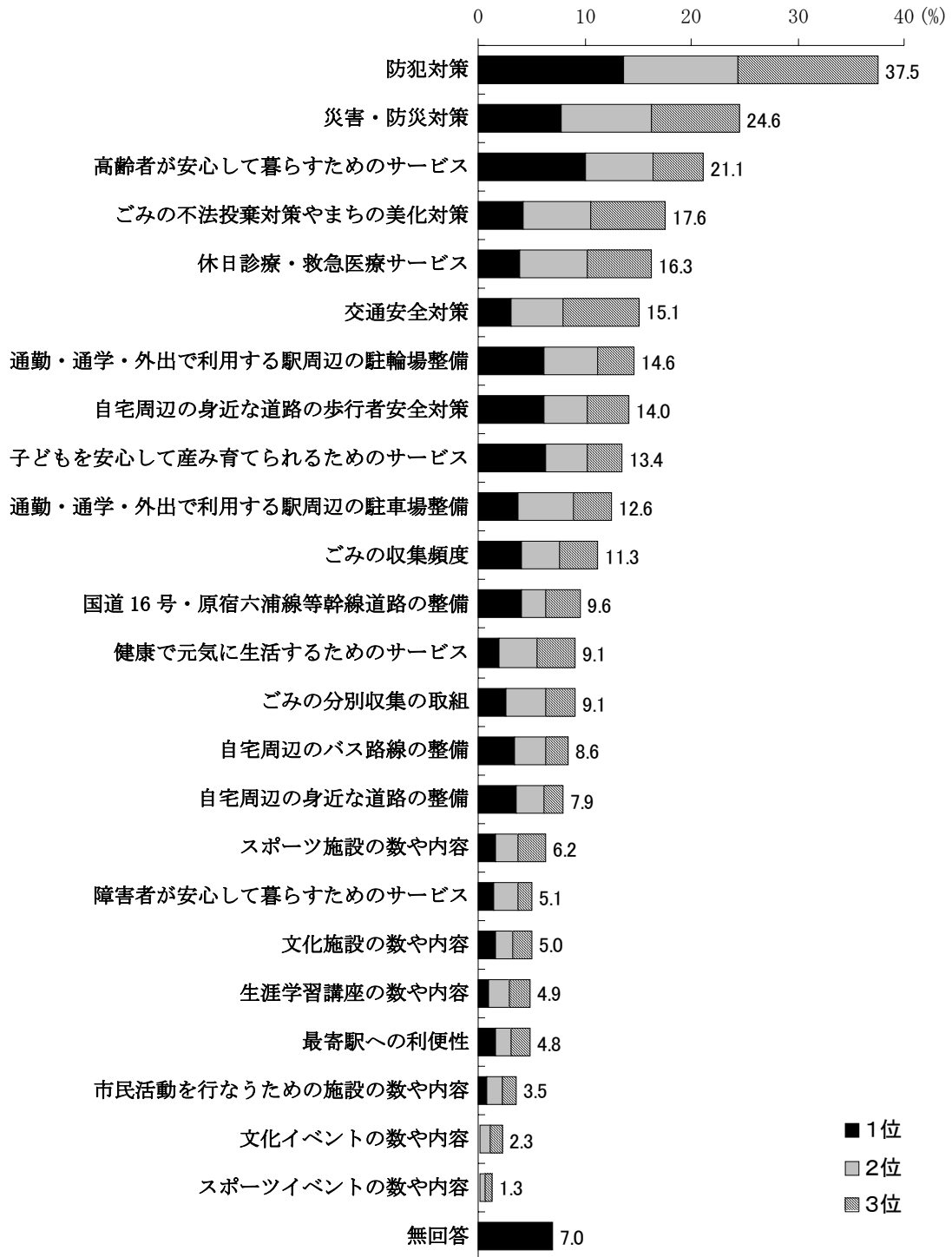
(4) 力を入れてほしい施策

◇ 1位「防犯対策」、2位「災害・防災対策」、3位「高齢者のためのサービス」

問4 問3の施策1～24の中で、あなたが特に力を入れてほしいと思うものを、第1位、第2位、第3位と順位をつけて、その番号を下の該当する欄に記入してください。

n = 1,864

<図1-5>全体



第1位から第3位までを合算して順位をみると、最も高いのは「防犯対策」(37.5%)で4割に近く、2番目が「災害・防災対策」(24.6%)で4人に1人、3番目が「高齢者が安心して暮らすためのサー

ビス」(21.1%)で2割強となっている。これに続くのは、「ごみの不法投棄対策やまちの美化対策」(17.6%)と「休日診療・救急医療サービス」(16.3%)、「交通安全対策」(15.1%)の3つが1割台半ばを超えている。(図1-5)

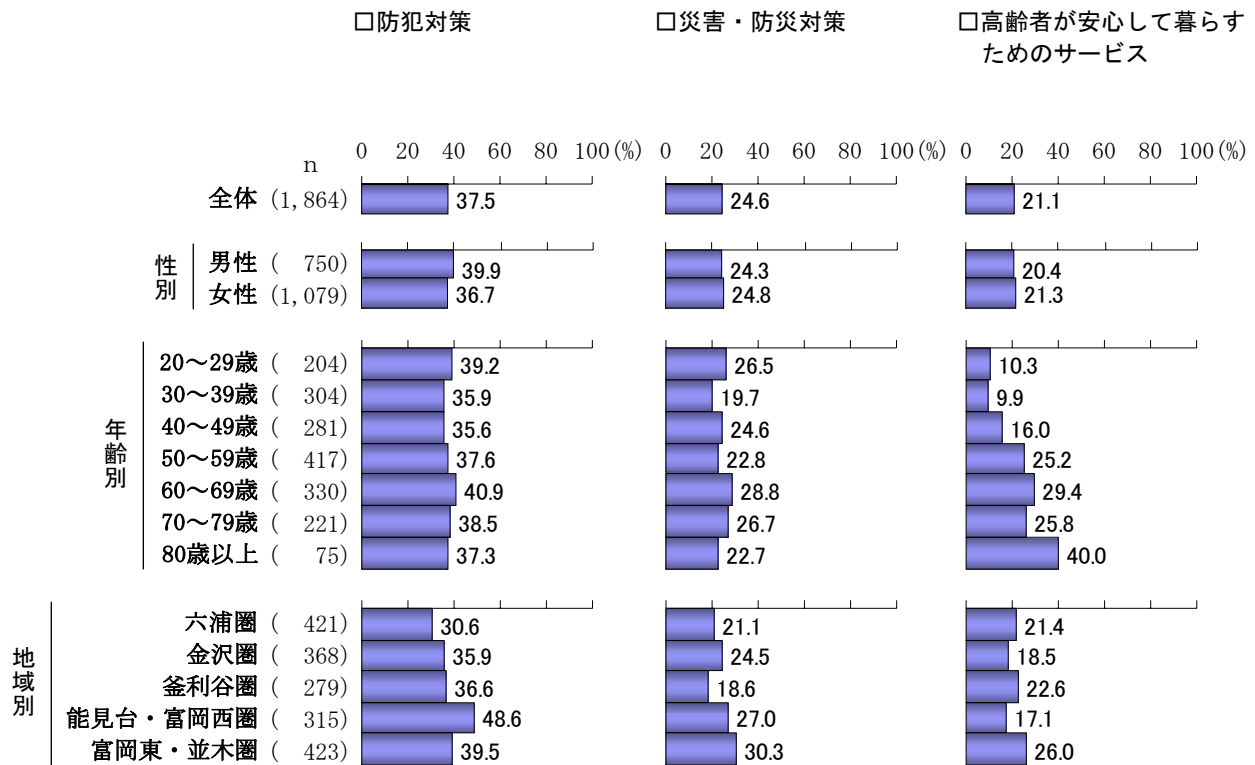
□属性別比較

性別でみると、「子どもを安心して産み育てられるためのサービス」で女性が男性を5ポイント上回るほかは、顕著な差異はない。

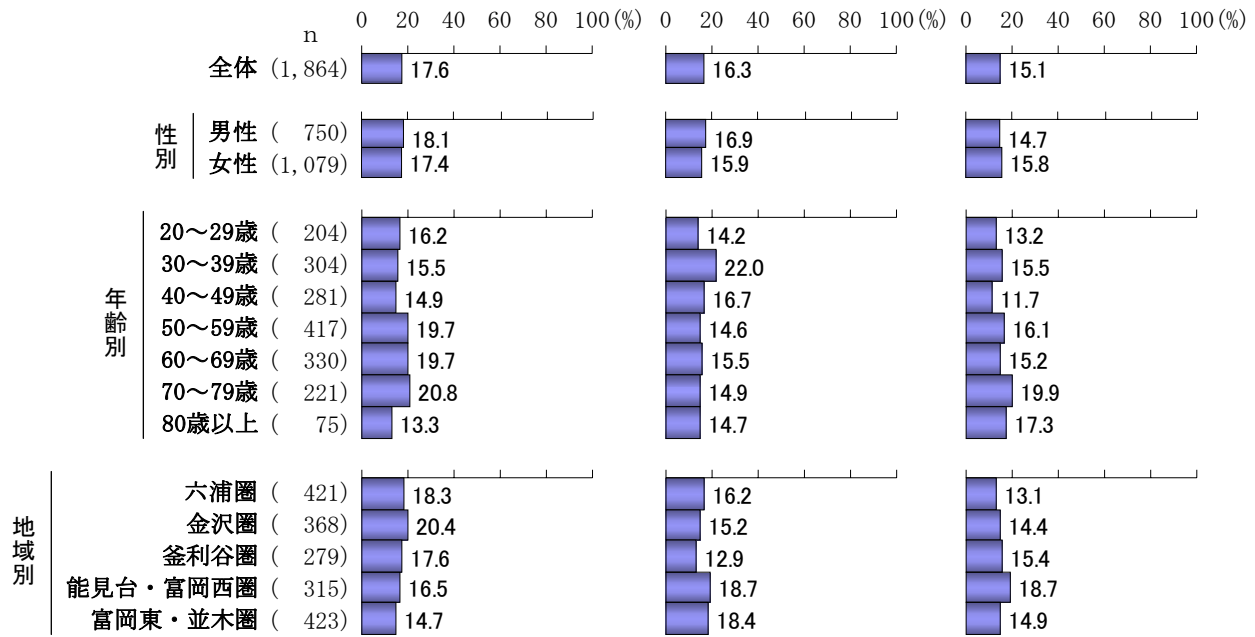
年齢別では、「高齢者が安心して暮らすためのサービス」は80歳代で4割に乗る。「休日診療・救急医療サービス」は30歳代で2割強である。「通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐輪場整備」は20歳代で4人に1人、「子どもを安心して産み育てられるためのサービス」は30歳代で3割台半ばと高くなっている。

地域別では、「防犯対策」は能見台・富岡西圏で5割台と高く、「災害・防災対策」は富岡東・並木圏で3割台に乗る。また、「通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐輪場整備」は金沢圏でほぼ2割である。(図1-6)

<図1-6>性別/年齢別/地域別(上位9項目)



□ごみの不法投棄対策や
まちの美化対策 □休日診療・救急医療
サービス □交通安全対策



□通勤・通学・外出で利用
する駅周辺の駐輪場整備 □自宅周辺の身近な道路の
歩行者安全対策 □子どもを安心して産み育
てられるためのサービス

